

PFI

Private Finance Initiative

PFIとその推進体制

PFIとはPrivate (民間の)、Finance (資金)、Initiative (主導)の頭文字をとったもので、「公共施設等の建設や維持管理、運営などを民間の資金や経営能力、また技術を活用して行う新しい手法」のことです。PFI事業の主な関係主体は、公共(国、地方公共団体および特殊法人その他の公共法人)、事業を実施する民間、資金を融資する民間の三者です。また、その事業類型には一般に独立採算型、公共サービス購入型、ジョイント・ベンチャー型があります。

[PFI事業の類型]

①独立採算型	利用者から徴収する料金収入によって民間事業者が独立採算を図る。
②公共サービス購入型	民間事業者が提供するサービスに対し、公共がサービス購入料金を支払うことで民間事業者が採算を図る。
③ジョイント・ベンチャー型	利用者から徴収する料金収入のみでは採算が取れない場合に、公共が補助金を交付する。

政府はPFIの推進に力を入れており、総理府のPFI推進室をはじめ建設省、運輸省、農林水産省、国土庁などにより構成される「PFI関係省庁連絡会議」が、PFI事業の効果的実施と関係省庁間の円滑な連携の推進に取り組んでいます。

PFIの期待効果

PFI事業を行うことで次のような効果が期待できます。

- 一、低廉・良質な公共サービス
PFIでは民間の経営ノウハウや技術が活用でき、リスク管理が効率的に行われます。また設計・建設・維持管理・運営を一体的に扱うことで事業コストが削減されます。これらにより従来より質の高い公共サービスの提供が期待できます。
- 二、公共サービスと行政の改革
公共事業を民間事業者が行うようになるため、官民の役割分担、パートナーシップが形成され、公共サービスを提供する上で行政のかわり方の改革が期待できます。
- 三、経済の活性化
PFIは従来、国や地方公共団体などが行ってきた事業を民間に委託します。また他の収益事業と組み合わせることもできるため、民間に新たなビジネスチャンスが創出します。プロジェクト・ファイナンス^{*}などの資金調達法を取り入れることで、金融環境が整備され、新しいファイナンス・マーケットの創設につながることも予想されます。新規産業を創出し、経済構造改革を推進する効果が期待できます。

先行する地方自治体のPFI

- PFIは次の三つの理由から、地方自治体が主なユーザーになると考えられています。
- 一、財政が苦しい地方自治体にとって、公共サービス提供に必要な資金を確保することができます。
 - 二、地方分権法で地方自治体に大幅に権限委譲された行政サービスに、民間の発想や運営ノウハウを活用することができます。
 - 三、PFIの狙いである「VFM^{*}(バリュー・フォー・マネー)の向上」は、住民に対し事業の説明をする上で重要な観点であるといえます。

奈良県北部にある都祁(つげ)村は、山間地にある人口約六八〇〇人の村です。来年夏のオーブンを目指して、PFIによる「道の駅・針テラス」の建設が進められています。針テラスにはレストラン、物販施設、情報提供施設などが整備されます。事業は独立採算型で実施されますが、情報提供に係るサービスのみ、公共サービスとして村がそれを事業者から購入する公共サービス購入型となります。当初、第三セクター方式での

^{*}VFMとは、税金の対価として公共が提供するサービスの価値、またはもっとも価値あるサービスを提供しなければならないという考え方と定義されます。

[PFI事業のプロセス]

事業の発案（民間業者含む）

- 民間事業者の発案の積極的取上・評価等の体制整備
- PFI事業としての実施可能性の検討
- 事業実施の優先順位決定
- 実施方針等手続きへの着手

実施方針の策定・公表

- 公平性、透明性に配慮し、早期に策定・公表
- 内容の具体性、詳細化
- 公共側の関与、リスク分担の明確化
- 許認可、民間の運営範囲、補助金、融資等の明確化

特定事業の評価・選定、公表

- 効率的・効果的に実施できることが基準
- 公的財政負担総額の評価（VFM算定）
- 定量的評価、定性的評価
- 選定結果等公表の透明性の確保

民間事業者の募集、評価・選定、公表

- 競争性、透明性の確保
- 民間の創意工夫、提案準備期間への配慮
- 「総合評価」基準の客観性の確保
- 性能発注の重視
- 公正な情報提供
- 選定結果等公表の透明性の確保

協定の締結

- 協定等の規定とその公開
当事者間の権利義務等の明確な取り決め／適正な公共サービス提供の規定／リスクの分担・軽減への対応の明確化／契約解除に関する明確な規定／事業様態に応じた取り決め／協定等の解釈の疑義についての明確な規定

事業の実施、サーベイランス

- 協定等に従った事業の実施
- 公共サービス水準のサーベイランス

事業の終了

- 土地の明渡し等、協定で定めた資産の取り扱いにのっとった措置

実施が検討されていましたが、事業の責任分担が曖昧になること、経営に必要な人材を確保できないことなどの懸念から、PFIの導入が検討されました。村でVFMを算出し、PFIの導入により三十年間で最大三億円のコスト削減になることを確認。効率的な公共サービスの調達をPFIで実現することになりました。

針テラスの整備や運営は、飲食業を営む企業と、高速道路のサービスエリアを運営する企業のグループが行います。針テラスは名阪国道と国道369号との交差点に整備されるため、事業経営が成立し利益が出ると判断されたのです。さらに融資を行う主体は、こ

PFI事業のプロセス

の事業に資金を提供することで金利が得られると評価しました。効率的な公共サービスの提供、利益や金利の獲得という異なる目的を同一事業で達成できるため、針テラスの整備や運営がPFIで実施できるのです。

PFI事業は、まず公共がどのような公共サービスをどういった役割分担で提供したいのかを決め、公表します。さらに、VFMの観点からPFIを導入することの妥当性を検討します。PFI方式と従来方式のコストからVFMを算定し、これをより高くする方式を

採用するのです。

次に、民間事業者を募集し提案を受けます。PFIでは、民間から調達するサービスに求められる必要最低限の性能（サービスの内容や質的水準）を規定し、規格仕様（手順や方法）は民間のアイデアに任せます。また、一般に設計、資金調達、建設、運営、維持管理の業務を一括して考えます。従来方式では公共と民間が分担していますが、一連の業務として検討することで効率確保を図ります。これらは発注段階で性能発注、一括発注と呼ばれ、民間の創意工夫を引き出しコストの削減につながります。こうした企画提案について、価格だけでなく施設・サービスの

内容なども含めて総合的に評価します。この方法は総合評価競争入札と呼ばれています。最後に、選定事業者と協定を結び事業に着手します。事業の中には、公共サービスの水準が協定に即しているかチェックすることも含まれます。

PFIでは性能発注や一括発注、VFMなど、住民や事業者のみならず行政にもなじみのない方式、考え方が用いられます。PFI事業を円滑に進めていくためには、住民や議会、事業者などの理解、協力を得ていくことが重要です。常に透明性、公平性を保ち、説明していくことが求められます。